

平成27年度第2回青森市子ども・子育て会議（会議概要）

- 1 開催日時 平成27年11月30日（月）18:00～20:08
- 2 開催場所 青森市役所本庁舎 2階 庁議室
- 3 出席委員 内海隆 会長、天内博久 委員、一戸倫子 委員、伊藤えり子 委員、
（12名） 今村良司 委員、長内雅子 委員、今一志 委員、坪谷輝子 委員、
成田綾子 委員、沼田久美 委員、橋本歩 委員、宮崎秀一 委員
- 4 欠席委員 工藤協志 委員
（1名）
- 5 事務局出席者 健康福祉部長 赤垣敏子、
（13名） 健康福祉部理事（次長事務取扱） 能代谷潤治、
健康福祉部参事（青森市保健所健康づくり推進課長事務取扱） 山口朋子、
子育て支援課長 鹿内利行、
子どもしあわせ課長 西澤哲司、
浪岡事務所健康福祉課長 加福拓志、
子育て支援課副参事 松本和久、
子育て支援課主幹 鳥谷部稚子、子育て支援課主幹 駒ヶ嶺祐、
子育て支援課主査 川村拓、子育て支援課主事 山内一潤、
子育て支援課主事 細谷桃子、子育て支援課主事 三浦茉梨花
- 6 会議次第
 - （1）開会
 - （2）委嘱状交付
 - （3）健康福祉部長あいさつ
 - （4）組織会
 - （5）議事
 - ①青森市子ども・子育て会議の役割について
 - ②青森市子ども・子育て会議開催スケジュール案について
 - ③青森市子ども・子育て支援事業計画における教育・保育に係る量の見込みと提供体制の確保に係る状況について
 - （6）その他
平成27年度第4回青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会の概要について（報告）
 - （7）閉会

7 議 事 概 要

(4) 組織会

○会長の選出

内海委員を推薦する者があり、全委員異議なく全会一致で、内海委員が会長に選出された。

(内海委員了承)

会長 内海 隆 (公立大学法人青森公立大学 経営経済学部 教授)

○副会長の選出

伊藤委員を推薦する者があり、全委員異議なく全会一致で、伊藤委員が副会長に選出された。(伊藤委員了承)

副会長 伊藤 えり子 (一般社団法人慈恵会 地域包括ケアシステムズ 室長)

(5) 議事

①青森市子ども・子育て会議の役割について

②青森市子ども・子育て会議開催スケジュール案について

③青森市子ども・子育て支援事業計画における教育・保育に係る量の見込みと提供体制の確保に係る状況について

事務局から資料3、資料4、資料5について説明。

質疑

- 委員 都道府県の事業計画はどのようなレベルのものになるのか。
- 事務局 県内の市町村の事業計画をまとめたものとなっている。
- 委員 市の子ども・子育て支援事業計画上の、対象となる子どもの年齢はどこまでか。
- 事務局 0歳から小学校6年生までを対象とする。
- 委員 就学前で教育・保育施設を利用していない子どもはどうか。
- 事務局 地域の子ども・子育て支援事業の提供についてもこの会議で検証していただくので、在宅で子育てしている方のサービスのありようもここで決めていくこととなる。
- 委員 市は新制度に移行する施設に対し、利用定員を上げることを求めているのか。
- 事務局 待機児童を解消するため、保育所の改築事業補助金を出す施設には協力を依頼している。
- 委員 新制度になって0歳児・1歳児が保育所に入りにくくなったという声がある。
- 委員 施設としては、0歳児・1歳児は職員配置が多く必要なので、雇った保育士の範囲で入所してしまうと、床面積や設備は基準を満たしても、年度途中で保育士が確保できずに対応できない傾向がある。
- 事務局 9月以降はどうしても0歳児・1歳児で、育児休業明け、産休明けの待機児童が発生している。
- 委員 4月にたくさん保育士を雇うと9月までの間余剰人員に給料を出すということになり、難しい。年度途中で保育士を確保しようとしても、保育士が都会に吸い上げられている問題もあり、確保できない。

- 委員 子どもの数は減っているが、育休をとって早く復帰したい人が増えており、切実である。この会議に商工会議所などの人が入っていないのは残念だ。働き方の時間帯なども把握しないと、ここに反映するのは難しいのではないか。
- 委員 保育園や企業内の保育園に子どもを預けていても、親が休みの時に預かってもらえない不便さがある。
- 事務局 保育園においては基本的にはない。ただし、休日保育を利用する場合は、平日親の休みに合わせて休むこととなる。
- 委員 休日保育をやっている所も旧青森市内だけでも8箇所ある。
- 委員 PR不足ではないか。利用者支援といわれるところを利用しやすくする、わかりにくい制度がどれだけわかるか、専門家を橋渡しする人達をどうやって作っていくかがこれからの課題である。
- 委員 地域子育て支援センターではいろいろなイベントや地域の施設と連携して子育て広場を開いており、情報を伝える努力はしているが、個々に家庭で悩んでいる方にどう情報を届けるか悩んでいる。
- 委員 今のお母さんが求めるのは展示ではなくスマホなどによる情報発信である。市のホームページもあるが、階層が深く必要な情報を探しにくい。
- 会長 切実な要望にはできる限り応えられるような形で、現場の幼稚園、保育所さんに協力をお願いしたい。

(6) その他

平成27年度第4回青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会の概要について（報告）
事務局から参考資料1について説明。

- 事務局 配付した子ども総合計画の骨子案は、児童福祉専門分科会に諮り色々な御意見をいただいております、今後修正を要するところがある。次の児童福祉専門分科会で素案ということで審議いただき、1月からパブコメを実施することになっている。委員の皆様にもパブコメのひとつとして御意見をいただきたいと考えている。
- 会長 1月に予定している会議の時にはパブコメにかけているものを説明していただくということで、その時は児童福祉専門分科会会長である宮崎委員にも補足を申し上げます。

8 閉会